

# 自分たちでできる「自信」を持つために ～「流通・サービス」での取組～

北海道函館五稜郭支援学校

和泉 友紀子

# 対象生徒の実態

- 高等部2年生 知的障害（軽度）

## 得意なこと

パソコンが好きで、日常からインターネットを使って動画を見たり、調べることが好き

## 苦手なこと

コミュニケーション能力も高く、話し好きであるが、自分から相手に伝えたいことを要約して伝えることが苦手

# 「流通・サービス」の取組

職場実習

校内実習

・基礎基本の定着

企業内作業実習

- ・企業の清掃
- ・ホテルの客室清掃
- ・飲食店での接客

地域貢献活動

- ・花壇整備
- ・町会会館の清掃
- ・近隣学校のプール清掃

# 企業内作業実習

函館市芸術ホール ワックスがけ



I's クリーム 窓清掃



# iPadを使った取組

企業内作業実習の中でiPadを活用して、清掃の手順の確認を自分自身で行い、**自分たちでできるという自信**を身につける。



# 活動の具体的内容

## ① 清掃マニュアルの作成・活用

清掃に関わる基礎基本の動き、手順についてwordで作成し、PDFし活用する



## ② 企業ごとのマニュアル作成・活用

各企業における清掃手順をiPadを利用してマニュアル化し、作成したマニュアルを手順の確認として活用する



## ③ メールを活用した報告、相談

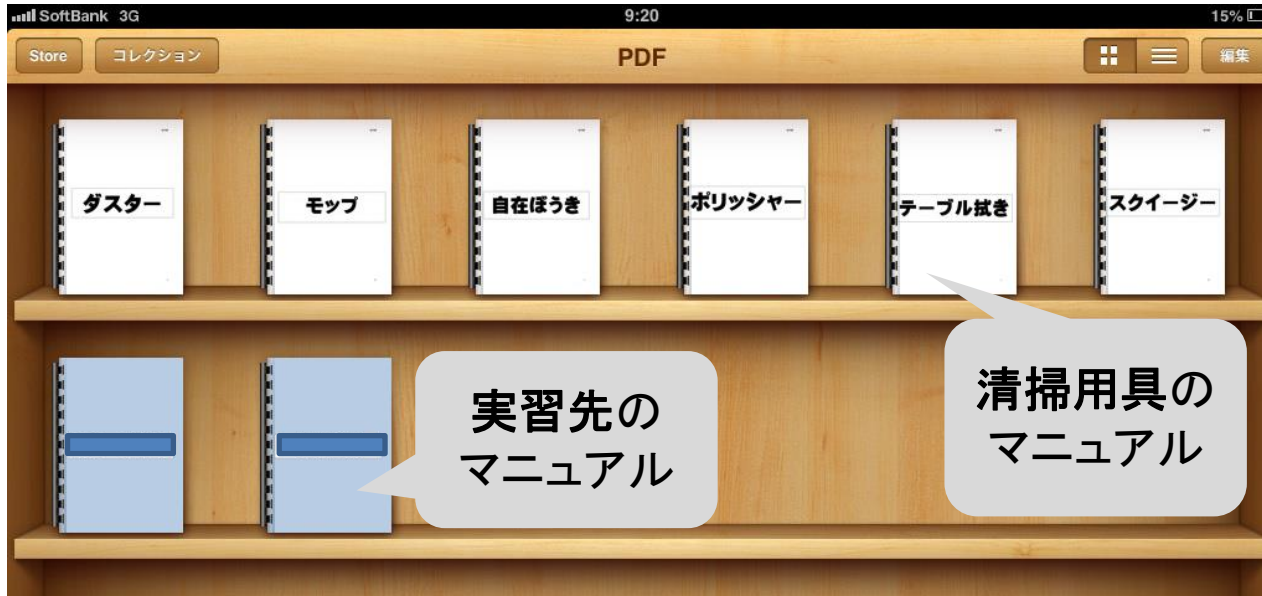
画像を使って実際の状況を伝える



# 実践後の対象生徒の変化

## ① 清掃マニュアルの作成・活用

- PDF化したマニュアルをiPadで持ち歩くことで、確認したい情報が見やすくなった。



## ②企業ごとのマニュアル作成

- 操作にすぐ慣れ楽しみながら取り組めた
- どこが作業手順のポイントとなるのか、自ら考えて取り組むことができた

社会福祉法人 函館大庚会  
介護付有料老人ホーム こん



清掃作業前に確認している様子



# 生徒が作成したマニュアルの一部

SoftBank 3G 20:14

モップの手順

- ①面取りをする
- ②蛇のように拭く。

注意点

- ①拭き残しがないようにする。
- ②モップの持ち方があっているか確認する。



画像に直接書き込めるところが気に入り、表現がしやすく、相手にも伝えることができた。

廊下バージョン

- ①物をどかしてモップで拭く。
- ②拭いた後どかした物を元の場所に戻す。
- ③モップをリンガーで洗ってもとに戻す。

注意点

ものをどかす時に音をなるべくたてない事。



色ごとにどの画像の説明なのか分かるように工夫することができた

### ③メールを活用した報告、相談

- ・困った事が起きた場合、画像を添付してメールすることができた。



通常のもップ清掃で  
汚れが落ちないと判  
断し、画像を添付して  
送信することができた

# 成 果

## 自分たちでできる「自信」を身につける

- ・生徒にiPadを持たせると、とにかく写真撮影を好む。そこからヒントを得て、自分たちで活用方法を見つけることもできた。



清掃が終わり次第、撮影した画像を見て元に戻すことができた

# 今後の見通し

- マニュアル作成を目的とせず、自身が作成した成果物を生かし、**自信を持って、主体的に活動できる力**を身につけさせたい。
- コミュニケーションに苦手意識があっても現場の状況を伝え、問題解決しようとする意識を身につけさせたい。
- 職場実習での活用も計画し、社会に出てからも活用できるツールにしたい。